

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,478	5.4	47	△17.8	87	△13.3	53	△15.3
2023年3月期第1四半期	6,145	9.3	57	185.1	100	54.9	63	78.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 264百万円(82.7%) 2023年3月期第1四半期 144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	40.37	—
2023年3月期第1四半期	47.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,373	9,516	58.1
2023年3月期	16,404	9,315	56.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,512百万円 2023年3月期 9,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,400	5.7	170	12.0	240	4.3	140	5.2	104.94
通期	28,000	4.7	440	29.3	540	14.5	350	18.0	262.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,560,000株	2023年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	225,974株	2023年3月期	225,887株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,334,081株	2023年3月期1Q	1,334,493株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの活動規制の更なる緩和により緩やかな回復基調になるものの、資源、原材料価格高の長期化並びに物価高などの足枷があり弱含みで推移しました。

このような状況の下、当社グループにおいては、原材料価格の高騰に伴う販売価格改定並びに国内外の新たな機能性商材の取引拡大に引き続き注力いたしました。

また、コロナ禍による社会活動規制からの緩和が徐々に進むなかで経費支出の効率化に努め、収益の確保を図りました。

これらの結果、売上高は64億7千8百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は4千7百万円（前年同期比17.8%減）、経常利益は8千7百万円（前年同期比13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千3百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

＜土木・建材資材関連分野＞

土木関連分野では、道路舗装用改質剤が増加するも、地盤改良及び環境負荷軽減セメント用ならびにコンクリート二次製品用の添加剤が減少し減収となりました。

建材資材関連分野では、建材ボード用薬剤が大幅に伸長しましたが、発泡断熱システム用輸入難燃剤や各種添加剤が低迷し減収となりました。

＜情報・輸送機器関連分野＞

情報関連分野では、LED関連材料ならびに電池関連材料の低迷はありましたが、ディスプレイ用材料と半導体関連材料の伸長により増収となりました。

輸送機器関連分野では、自動車部品用成形材料及び自動車用塗料原料の増加により増収となりました。

＜日用品関連分野＞

日用品関連分野では、プラスチックレンズ関連材料の減少はありましたが、清掃用品材料及び輸入化学品の伸長により増収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品及び冷凍食品包装フィルム製品の販売が引き続き伸長し増収となりました。

＜化学工業関連分野＞

繊維関連分野では、工業用繊維用薬剤の増加により増収となりました。

化学工業関連分野では、工業用成形材料の一部及び樹脂合成用輸入化学品の減少があり大幅な減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は53億1千6百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は1億4百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

[建装材事業]

住宅用部材関連のコロナ禍からの需要持ち直しによる、造作部材、建具、キッチン関連の伸長及び成形用樹脂の新規採用等も寄与し増収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は11億6千2百万円（前年同期比22.9%増）となり、営業利益は6百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、2億9千2百万円減少し106億3千8百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億1千8百万円、商品及び製品が5千9百万円減少し、現金及び預金が1億8千5百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、2億6千1百万円増加し57億3千5百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が2億7千8百万円増加し、有形固定資産が1千2百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、3千1百万円減少し163億7千3百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、3億2千4百万円減少し59億1百万円となりました。これは主に、買掛金が1億6千4百万円、未払法人税等が7千4百万円、賞与引当金が5千2百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、9千2百万円増加し9億5千5百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が8千3百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、2億3千2百万円減少し68億5千6百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、2億円増加し95億1千6百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億9千4百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,591,297	1,776,551
受取手形及び売掛金	6,069,331	5,650,446
電子記録債権	2,088,109	2,040,562
有価証券	88,886	100,028
商品及び製品	889,003	829,232
仕掛品	27,727	23,599
原材料及び貯蔵品	66,928	61,190
その他	109,456	156,584
貸倒引当金	△79	△74
流動資産合計	10,930,661	10,638,120
固定資産		
有形固定資産	1,812,507	1,799,727
無形固定資産	140,393	136,385
投資その他の資産		
投資有価証券	3,380,529	3,658,813
その他	141,094	140,931
貸倒引当金	△475	△475
投資その他の資産合計	3,521,148	3,799,269
固定資産合計	5,474,049	5,735,381
資産合計	16,404,710	16,373,502
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,052,111	3,887,321
電子記録債務	1,510,970	1,502,009
短期借入金	133,700	136,850
1年内返済予定の長期借入金	24,996	24,996
未払法人税等	114,143	39,958
賞与引当金	71,139	18,396
役員賞与引当金	17,805	5,450
その他	300,911	286,340
流動負債合計	6,225,777	5,901,321
固定負債		
長期借入金	10,455	4,206
役員退職慰労引当金	313,337	319,940
退職給付に係る負債	58,000	56,110
その他	481,368	575,233
固定負債合計	863,160	955,490
負債合計	7,088,937	6,856,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,456,843	1,456,843
利益剰余金	5,494,166	5,484,656
自己株式	△459,992	△460,270
株主資本合計	8,207,617	8,197,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	974,951	1,169,260
土地再評価差額金	35,521	35,521
為替換算調整勘定	92,441	109,983
その他の包括利益累計額合計	1,102,914	1,314,765
非支配株主持分	5,241	4,095
純資産合計	9,315,773	9,516,690
負債純資産合計	16,404,710	16,373,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	6,145,404	6,478,965
売上原価	5,589,417	5,898,887
売上総利益	555,986	580,077
販売費及び一般管理費	498,443	532,803
営業利益	57,543	47,273
営業外収益		
受取利息	2,119	2,256
受取配当金	33,487	34,790
持分法による投資利益	3,520	476
仕入割引	642	566
その他	5,702	5,631
営業外収益合計	45,472	43,721
営業外費用		
支払利息	207	1,509
その他	2,387	2,386
営業外費用合計	2,594	3,896
経常利益	100,421	87,099
特別利益		
固定資産売却益	-	1,225
特別利益合計	-	1,225
税金等調整前四半期純利益	100,421	88,325
法人税、住民税及び事業税	38,255	35,731
法人税等合計	38,255	35,731
四半期純利益	62,165	52,594
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,413	△1,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,578	53,860

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	62,165	52,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,797	194,309
為替換算調整勘定	33,019	10,088
持分法適用会社に対する持分相当額	9,788	7,574
その他の包括利益合計	82,605	211,971
四半期包括利益	144,771	264,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,425	265,711
非支配株主に係る四半期包括利益	△653	△1,145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,199,817	945,586	6,145,404	—	6,145,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,199,817	945,586	6,145,404	—	6,145,404
セグメント利益	108,540	6,190	114,731	△57,188	57,543

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,316,457	1,162,508	6,478,965	—	6,478,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,316,457	1,162,508	6,478,965	—	6,478,965
セグメント利益	104,148	6,281	110,429	△63,155	47,273

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。